



大橋 博之 議員

1、人口減少社会への対策は

Q 東松島市の人口は平成27年国勢調査の結果速報で39518人であった。前回平成22年の調査では42903人であったので3385人の減少である。早急に人口減少を食い止める施策を実行すべきと考える。次の5点について市長の所信を伺う。

(1)若い世代の結婚を支援する婚活事業について

A 市長 地方創生事業の総合戦略の中で一体的に取り組み(1)28年度以降も地方創生事業に位置づけイベントを開催して出会いの場の創出に努める(2)積極的に取

り組んでいる先進的事例を調査し地域の実情に応じた支援策を検討(3)創業支援事業計画を策定し国の認定を受け環境を整備し雇用創出を図る(4)未満児保育施設の充実と待機児童の解消、学童保育施設の充実、子育て支援拠点施設の整備(5)ハードソフトの両面で努力する。

Q 人口減少社会への対策は

A 地方創生事業を活用し取り組む



▲避難道路大茂倉線東名駅付近



菅原 節郎 議員

- 1、エネルギーの地産地消について
- 2、子育て支援について
- 3、避難道路の整備について
- 4、オリンピック選手団の招致について

Q 避難道路の整備について

A 平成30年度完成予定である

Q 復興の優先事業として、市民の生活再建のために住環境の整備が進んでいる。しかしながら我々は震災からの教訓として『防ぐ』よりも『逃げる』ということも学んだ。2度とあつては欲しくないが、いつ何時また震災があるかは誰にも分からない。避難道路の整備は一刻の

A 市長 指摘のとおり震災の発生に備え早期の整備が必要だと認識している。復興交付金事業の6路線は、平成28年度に石巻工業港線、小野・浜市線及び大茂倉線が完成予定であ

る。29年度に立沼・立沼・浜市線及び東名・新東名線、30年度に台前・亀岡線の完成を予定している。また別の交付金で28年度に大曲・堺堀線、牛網・下江戸原線及び大高森・室浜線、27年度新規採択された小松・赤井線、東赤井104号線及び中田・堺堀線は平成30年度の完成予定である。



▲28組のカップル誕生